

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2008-505121(P2008-505121A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519534(P2007-519534)

【国際特許分類】

A 0 1 N	43/56	(2006.01)
A 0 1 N	43/40	(2006.01)
A 0 1 N	43/707	(2006.01)
A 0 1 N	43/20	(2006.01)
A 0 1 N	47/34	(2006.01)
A 0 1 N	51/00	(2006.01)
A 0 1 N	47/40	(2006.01)
A 0 1 N	47/24	(2006.01)
A 0 1 N	53/08	(2006.01)
A 0 1 N	47/38	(2006.01)
A 0 1 N	43/90	(2006.01)
A 0 1 N	63/02	(2006.01)
A 0 1 N	47/02	(2006.01)
A 0 1 N	47/12	(2006.01)
A 0 1 N	37/06	(2006.01)
A 0 1 N	35/10	(2006.01)
A 0 1 N	43/36	(2006.01)
A 0 1 N	43/54	(2006.01)
A 0 1 N	43/58	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 N	25/08	(2006.01)
A 0 1 N	25/00	(2006.01)
A 0 1 P	7/04	(2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N	43/56	D
A 0 1 N	43/40	1 0 1 E
A 0 1 N	43/40	1 0 1 D
A 0 1 N	43/707	
A 0 1 N	43/20	
A 0 1 N	47/34	G
A 0 1 N	51/00	
A 0 1 N	43/40	1 0 1 C
A 0 1 N	47/40	Z
A 0 1 N	47/24	E
A 0 1 N	47/24	Z
A 0 1 N	53/00	5 0 8 B
A 0 1 N	47/38	Z
A 0 1 N	47/34	C
A 0 1 N	43/90	1 0 1
A 0 1 N	63/02	P
A 0 1 N	47/02	

A 0 1 N 47/12 Z  
 A 0 1 N 37/06  
 A 0 1 N 35/10  
 A 0 1 N 43/36 A  
 A 0 1 N 43/54 F  
 A 0 1 N 43/58 B  
 A 0 1 N 25/02  
 A 0 1 N 25/08  
 A 0 1 N 25/00 1 0 2  
 A 0 1 P 7/04

## 【手続補正書】

【提出日】平成20年6月11日(2008.6.11)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

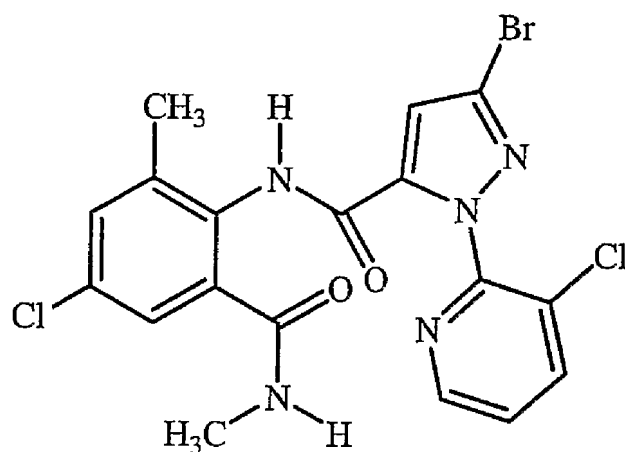
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 式 1 の化合物、3 - ブロモ - N - [ 4 - クロロ - 2 - メチル - 6 - [ ( メチルアミノ ) カルボニル ] フェニル ] - 1 - ( 3 - クロロ - 2 - ピリジニル ) - 1 H - ピラゾール - 5 - カルボキサミド、その N - オキシドまたは塩

【化 1】



1

と、

- ( b 1 ) ネオニコチノイド ;
- ( b 2 ) コリンエステラーゼ阻害剤 ;
- ( b 3 ) ナトリウムチャンネルモジュレーター ;
- ( b 4 ) キチン合成阻害剤 ;
- ( b 5 ) エクジソン作動薬 ;
- ( b 6 ) 脂質生合成阻害剤 ;
- ( b 7 ) 大環状ラクトン ;
- ( b 8 ) G A B A 調節クロリドチャンネルブロッカー ;
- ( b 9 ) 幼若ホルモン模倣物 ( m i m i c ) ;
- ( b 1 0 ) リアノジン受容体配位子 ;

- ( b 1 1 ) オクトパミン受容体配位子；
- ( b 1 2 ) ミトコンドリア電子伝達阻害剤；
- ( b 1 3 ) ネライストキシン類似体；
- ( b 1 4 ) ピリダリル；
- ( b 1 5 ) フロニカミド；
- ( b 1 6 ) ピメトロジン；
- ( b 1 7 ) ジエルドリン；
- ( b 1 8 ) メタフルミゾン；
- ( b 1 9 ) 生物剤；および
- ( b 1 ) ~ ( b 1 8 ) の化合物の塩

よりなる群から選択される少なくとも１種の無脊椎有害生物防除剤である成分（ b ）とを含んでなる混合物。

【請求項 2】

成分（ b ）が（ b 1 ）ネオニコチノイドから選択される化合物である請求項 1 に記載の混合物。

【請求項 3】

成分（ b ）が（ b 2 ）コリンエステラーゼ阻害剤から選択される化合物である請求項 1 に記載の混合物。

【請求項 4】

成分（ b ）が（ b 3 ）ナトリウムチャンネルモジュレーターから選択される化合物である請求項 1 に記載の混合物。

【請求項 5】

成分（ b ）がジノテフラン、イミダクロプリド、ニテンピラム、チアクロプリド、チアメトキサム、メトミル、オキサミル、デルタメトリン、インドキサカルブ、ラムダ - シハロトリン、ヘキサフルムロン、ノバルロン、アバメクチン、スピノサド、フィプロニル、フェノキシカルブ、メトプレン、アミトラズ、クロフェナビル、ヒドラメチルノン、ピリダベン、カルタブ、フロニカミド、ピメトロジンおよびジエルドリンよりなる群から選択される請求項 1 に記載の混合物。

【請求項 6】

成分（ b ）が（ b 1 ）、（ b 2 ）、（ b 3 ）、（ b 4 ）、（ b 5 ）、（ b 6 ）、（ b 7 ）、（ b 8 ）、（ b 9 ）、（ b 1 0 ）、（ b 1 1 ）、（ b 1 2 ）、（ b 1 3 ）、（ b 1 4 ）、（ b 1 5 ）、（ b 1 6 ）、（ b 1 7 ）、（ b 1 8 ）および（ b 1 9 ）よりなる２つの異なる群の各々から選択される少なくとも１種の無脊椎有害生物防除剤を含んでなる請求項 1 に記載の混合物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか１項に記載の混合物の生物学的に有効な量ならびに界面活性剤、固体希釈剤および液体希釈剤よりなる群から選択される少なくとも１種の追加の成分を含んでなり、場合により少なくとも１種の追加の生物学的に活性な化合物または薬剤の有効量をさらに含んでなっているもよい無脊椎有害生物の防除のための組成物。

【請求項 8】

無脊椎有害生物またはその環境を請求項 1 ~ 6 のいずれか１項に記載の混合物の生物学的に有効な量と接触させることを含んでなる無脊椎有害生物の防除方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の混合物、１種もしくはそれ以上の食物材料、場合により誘引剤、および場合により保湿剤を含んでなる餌料組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 3 1 】

実施形態 7 . 成分 ( b ) がアセフェート、アジンホス - メチル、クロルエトキシホス、クロルプラゾホス、クロルピリホス、クロルピリホス - メチル、クマホス、シアノフェンホス、デメトン - S - メチル、ジアジノン、ジクロルボス、ジメトエート、ジオキサベンゾホス、ジスルホトン、ジチクロホス、フェナミホス、フェニトロチオン、ホノホス、イソフェンホス、イソキサチオン、マラチオン、メタミドホス、メチダチオン、ミパホクス、モノクロトホス、オキシデメトン - メチル、パラチオン、パラチオン - メチル、ホレート、ホサロン、ホスメト、ホスファミドン、ホキシム、ピリミホス - メチル、プロフェノホス、ピラクロホス、キナルホス - メチル、スルプロホス、テメホス、テルブホス、テトラクロルビンホス、チクロホス、トリアゾホスおよびトリクロホンのようなオルガノホスフェート ; ならびにアルジカルブ、アルドキシカルブ、ベンジオカルブ、ベンフラカルブ、ブトカルボキシム、カルバリル、カルボフラン、カルボスルファン、エチオフエンカルブ、フラチオカルブ、メチオカルブ、メトミル ( ランネート ( L a n n a t e ) ( 登録商標 ) ) 、オキサミル ( ビデート ( V y d a t e ) ( 登録商標 ) ) 、ピリミカルブ、プロボキスル、チオジカルブ、トリアザメートおよびキシリルカルブのようなカルバメートよりなる群から選択される実施形態 6 の混合物。